

# インフルエンザ感冒

## 1) インフルエンザとは。

インフルエンザウイルスAおよびBによる冬期の感染症です。感染して、1~2日で症状がでます。主な症状は、のどの痛み・イガイガ感・咳・鼻汁です。嘔吐・下痢も見られます。この後、発熱・頭痛・全身倦怠・関節痛・筋肉痛などが同時多発的に発現します。

3~5日間このような症状がでた後、いったん解熱し、おおよそ半数のヒトが再発熱します。だいたい1週間で元気になります。

## 2) 主な合併症

- \* 急性気管支炎・肺炎・中耳炎に注意が必要です。
- \* 乳幼児では、高熱に伴い「脱水症」「熱性けいれん」がみられます。
- \* 「脳炎・脳症」はそれほど多いものではありません。

## 3) 主な治療法

- \* 安静臥床が基本です。室内の保温・加湿が必要です。水分の補給も大切です。イオン水を中心に、少量を頻回に摂取しましょう。
- \* 解熱剤・咳止めを症状にあわせて、内服します。
- \* 特効薬はありません。慢性的な持病のある人は、12月までにワクチンを二回接種しましょう。症状の軽減が期待され、合併症を起こしにくくなります。

### 発熱に対する注意点と処置。

@解熱剤の使いすぎは、免疫力を弱めて熱を長引かせます。

- ・せいぜい、一日一回ぐらいの使用に控えましょう。
- ・脳症を併発したときに重篤化させ死亡率を上昇させる解熱剤使用は、できるだけ控えます。

@クーリング・スポンジングなど、体温より少し低い温度の微温水(30ぐらい)で身体を拭いてください。

首筋・腋窩・胸腹部・背中が適当な場所です。あまり冷たい水や氷水は使用しない方が良いでしょう。